



聖明福祉会報

第313号

令和7年10月

〒一九八―八五三一 東京都

青梅市根ヶ布二ノ七二二

聖明福祉協会

編集発行人 本間清郷

(〇四二八)二四五七〇〇

印刷 有限会社米澤

巻頭言

秩父宮妃勢津子殿下 三十年祭に参列して

酷暑が続く折、八月二十五日は秩父宮妃勢津子殿下のご命日でした。毎年、関係者と共に豊島岡墓地にて拝礼を捧げておりますが、今年は早くも三十年祭を迎えました。

午後一時より式場にて神使による祝詞奏上が行われ、約一時間にわたる厳粛な式典が執り行われました。参列者は総勢四十名に上りました。

生前、殿下は当園のために「聖明園 なかく栄えむ 目の見えぬ 老のところに 灯をともしつゝ、勢津子」と御歌をお詠みくださいました。常に入居者の幸せを願われ、同時に法人の発展にも深くお心を寄せてくださったのです。かつて御所にて茶菓を

いただきながらご歓談させていただいた際、「私は、実質な名誉総裁よ」とおっしゃられたお言葉が、今も私の脳裏に鮮明に残っています。今日、当法人が発展・充実に遂げることができたのは、ひとえに殿下のお力添えがあったからこそであり、そのご恩は決して忘れてはならないと改めて感じました。

式典終了後、参列者一同は墓前にて拝礼しました。墓地には、上皇后両陛下をはじめ、天皇皇后両陛下、皇嗣秋篠宮同妃両殿下、各宮家から胡蝶蘭、百合、リンドウなど、色とりどりの花が竹筒に飾られていました。お墓から下げられた花束を一ついただき、抱えながら関係者の皆様にご挨拶をし、帰路につきました。殿下がどれほど当法人にご尽力くださったか、青梅の山の上まで九回もお成りくださり、現在の聖明園曙荘の落成式にも「出席しますよ」と楽しそうにお話くださったことは、決して忘れることができません。

現在、当法人では

『聖明園曙荘六十周年
記念感恩報謝』を刊行





しておりますが、この度参列された皆様が、元評議員で宮内庁秩父宮付宮務官の山口峯生様をはじめとして、殿下と聖明園との関わりについて執筆されている方がいらつしやることをお知りになり、「ぜひ拝読したい」とのお申し出を頂戴しました。

ご希望された方々へ記念誌をお送りしたところ、皆様から「殿下が聖明園をはじめ、高齢視覚障害者のために心を寄せられた事業が今も継続されていることを喜んでいらつしやるだろう」「百十六名の執筆者の皆様の原稿に感銘を受けた」などの温かいご感想が寄せられました。

このことは、当法人の事業が千年先までも必要とされるものであると確信するに足るものでした。日頃より当法人の事業にご理解、ご協力を賜っております皆様に、改めて心より感謝申し上げます。
(名誉会長 本間昭雄)



聖明園曙荘

盆供養



七月十三日(日)～十六日(水)、盆供養が行われました。

入居者と一緒に作った胡瓜と茄子の牛馬で亡きご親族やご友人をお迎えしました。十六日には曙荘玄関にて盆供養が行われました。暑さ厳しいなか、大勢の皆様が参列され、それぞれが心静かに亡きご親族やご友人に思いを馳せられていました。

(曙荘 生活相談員)



納涼祭



八月二十日(水)午後かき氷喫茶をしました。今年の納涼祭は昼食の納涼祭メニューと午後のかき氷、くじびきでお楽しみいただきました。かき氷機は青梅

市社協より本格的な大きな機械を準備しました。皆さんのお好きなシロップは何かと頭を悩ませ、当日はイチゴ、ブルーハワイ、抹茶、みぞれの4種類を用意しました。懐かしさにみぞれが人気になるのではと予想していましたが、一番人気はなんとブルーハワイでした。魅惑のハワイという言葉について引き寄せられたようです。お誘いした時にはそれほど乗り気でなかった方も一口食べたならあれよあれよと何杯もおかわりをされた方もいました。最初と比べ冷凍庫から出した氷は柔らかかなふんわりとしたかき氷になり、時間の差による味わいの違いも面白く、また来年はさらに美味しいかき氷を企画したいと思います。

(曙荘 生活相談員)





敬老の日



九月十二日、敬老会が行われました。

今回、百一歳、百歳を迎えた方には、花束をお渡しして写真撮影し、手作りの台紙に貼ってお部屋に飾りました。曙荘で三十年以上にわたってかけがえない人生の年輪を紡いでくれたお二人には尊敬と感謝の念を抱かずにはいられません。また、曙荘で生活をされている全入居者の皆様も、健康で幸せな日々がつづきますよう、心を込めてお菓子をお渡ししました。

(曙荘 生活相談員)



聖明園寿荘

七夕昼食会



七月七日(月)の昼食に七夕昼食会を行いました。献立は、えびのちらし寿司、そうめんのすまし汁、星のコロッケ、デザートには水まんじゅうをご用意いたしました。七夕といえば、お星さま。人参やオクラ、コロッケまで星型でいっぱいのお膳でした。可愛らしい見た目に皆様の笑顔が見られ、「いいお味ー」と好評のお声もいただきました。星のコロッケも「かわいいコ

ロッケは初めてだわ」と喜んでいただけました。今年の七夕は『七』が三つ並ぶ、とても珍しい年でした。そのため、心なしか毎年の願い事よりも叶うのではないかと談笑される方もいらっしゃいました。私の今年の願いは皆様の健康を願いました。

(寿荘 管理栄養士)



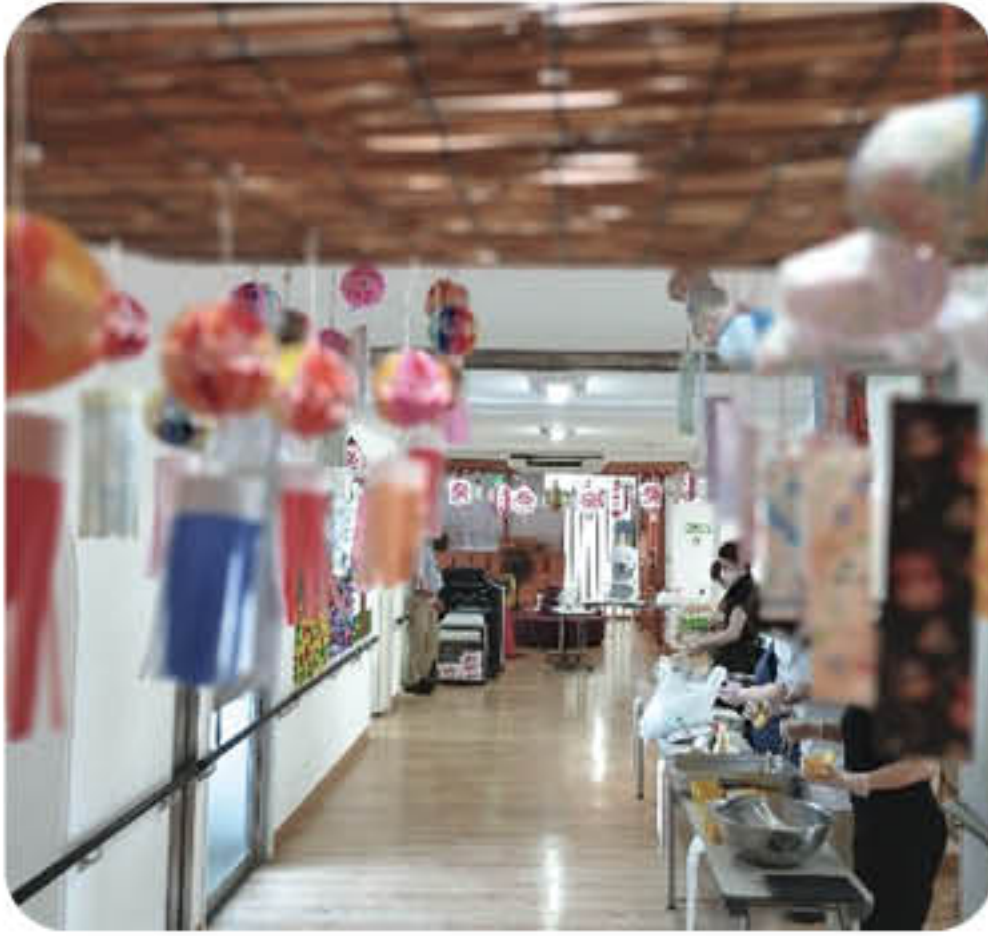
お囃子に誘われて

数多くの行事を行う聖明園寿荘において、大規模な催し物である夏祭り喫茶を今年も開催！ご提供する屋台食を担当ケアワーカーが考え抜いて、本年はあつあつポテトフライ、マヨ

たっぷりタコ焼き、練乳あずきかき氷、ふわふわ綿菓子、ノンアルコールビールを含む飲料、昔懐かしい駄菓子をご提供。「こんな久しぶり!!」と笑顔でほぼっていただきました。各階毎に開催することで、多くの利用者が長時間ゆつくりと楽しめるよう工夫し、BGMとして青梅大祭のお囃子を流してさらにお祭り感アップ！さらに手芸クラブで作成した提灯や風鈴が雰囲気をもたらし、季節を感じて頂ける行事となりました。

(寿荘 機能訓練指導員)





祝！敬老



九月十三日（土）に敬老昼食会が行われました。寿荘では、百歳の方がお一人いらつしやいます。

市役所の方が来園し、お祝いのお言葉をご本人にかけられました。また、来年百歳を迎えられる方は五名いらつしやいます。いつまでもお元気だという言葉はありきたりになりますが、そう願うばかりの一日でした。（寿荘 生活相談員）



制作風景

リハビリ室にて、紙花で作る桜から始まり、折り紙、貼り絵の紫陽花、紙花を丸めたひまわりと四季折々の制作を行い、寿荘一二階それぞれに飾っています。次は何の作品だろうと、心待ちにし、楽しませてくれます。（寿荘 生活相談員）



聖明園富士見荘

二〇二五年 サマーコンサート

二〇二五年七月三十日、富士見荘の地域交流室にてギター＆ハーモニカ サマーコンサート夏！ が開催されました。

ギター（小泉清人さん）ハーモニカ（続木力さん）の音色が地域交流室に響き渡りました。

洋曲から始まり童謡そしてなつかしの曲。みんなで手拍子したり歌ったり、涙したりと大変盛り上がりました。音楽は人をなつかしの時代に運んでくれる素晴らしいものだと思感しました。

「アンコール」との大きなかけ声が会場をより一層盛り上げました。

（富士見荘 障害者生活支援員）



二〇二五年 夏 富士見荘の庭便り

富士見荘の入居の希望理由に眺望と敷地内のお庭を挙げられるご家族がおります。そのお言葉ヒントに：面会のご家族の団欒で、敷地内の散歩者の方にお話のネタに、香りで、触れて、味覚で楽しんで頂きたく、有志ですが、たくさんのお花、植物で彩らせて頂きました。味↓トマト、キュウリ、ナス、小松菜、オクラ。鑑賞↓チューリップ、

ほおずき、ラッキークローバー、バジル、シソ、えごま、朝顔、ふきのとう、ごんちゃ等、沢山の種類の植物が咲き、鹿や野兎に負けずに存在感を発揮しています。

（富士見荘 ケアワーカー）



敬老のお祝い昼食会

九月十三日（土）に、皆さまの健康と長寿を祝い、感謝し各ユニット内で敬老のお祝い昼食会を行いました。現在、最高齢の方は九十八歳で五名おられます。始めに職員からのお祝いの挨拶の後、各職種が集まり職員

による歌の披露（青い山脈）がありました。職員も緊張した様子でした。ご入居者様から「タンバリンは盛り上がりもいいね」「職員さんみんなで歌う機会が無かったから良かった」「メロデーは浮かぶけど歌詞が出てこないから職員さんが教えながら歌えて良かった」等、話され方は、お赤飯、天ぷらの盛り合わせ、蟹鉋かけ卵豆腐、ほうれん草と菊花の三杯酢和え、具沢山お吸い物を召し上がりました。美味しい食事を召し上がりながら入居者様同士会話も弾んでおりました。今年も皆様と楽しい時間を過ごすことが出来て幸せでした。（富士見荘 生活相談員）



表彰

おめでとうございます

全国老人福祉施設協議会
感謝状(令和七年六月十二日)

勤続十五年

高橋 紗和子(曙荘)
青柳 美和(寿荘)
和田 理絵(寿荘)
荒井 優子(富士見荘)
古屋 祐(富士見荘)
山口 大輔(富士見荘)
内田 克幸(富士見荘)

今後の活躍を

期待いたします

昭憲皇太后御生誕記念日チャリティバザー (第三回明治神宮バザー)について

去る五月二十八日に開催されました「昭憲皇太后御生誕記念日チャリティバザー」に際しましては、今年も入居者の皆さんよりたくさんの手作り品をいただきました。入居者の皆さんは、この「明治神宮バザー」を大変楽しみにしております。

これは、何か恩返しをしたいという強い思いから、崇敬婦人会会長 川崎里子様をはじめとする関係者の皆様からのお誘いを受けて始められたもので、二〇二二年に第一回目のご寄付をさせて頂き、今回は第三回目となります。

今年は、第一回目から続いている台所用のアクリル

たわしをはじめ、毛糸の帽子、折り紙で作成した様々な箱、そして園芸愛好会が丹精込めて育てたホウセンカの苗などを、理事長自らが出向き、ご寄付をさせて頂きました。

バザー当日は、十時三十分からの本殿参拝に続き、十一時よりバザーが開始されました。二五〇名もの方々が来場され、バザーは盛況のうちに終了したとのこと。その際、聖明園の三園のパフレットなども手に取っていただき、当園を知っていただく貴重な機会となりました。今後もこの活動を継続していければと思います。





ボランティア芳名（順不同）

〔令和七年六月から令和七年九月までに活動を予定くださっていた方々です。（敬称略）〕

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和二年の二月よりボランティアの活動の休止をお願いしております。本来であれば活動を頂いております方々を含め、ご紹介させていただきます。

一. クラブ活動援助

【曙荘】

植草由利・星野ふさ江・栗原法子・伊藤光恵（陶芸）、
西村千秋・打越洋子・溝添茂子・狛守美代子・坂本昭子（籐編み）、
小松志ず子（器楽）、菅原弘貴（御詠歌）本田正美（コーラス）

【寿荘】

峯岸初枝・双木かつ枝・伊原久子（民謡）、小松志ず子（コーラス）

【富士見荘】

フラワーアレンジメント

二. 利用者に対する援助

【曙荘】

たんぽぽ（朗読）・みすず会（朗読）・心話の会（傾聴）・高野美令・
松尾純子・北島なな子・青梅フリーメソジスト教会（聖書朗読）、
ともしび会（縫い物）、青梅ボランティアの会（縫い物）、
国立音楽大学学生（音楽療法）、千葉陽子・千葉和夫（介護予防）、
菊地玉雲（講談）

【寿荘】

たんぽぽ・みすず会（朗読）、金丸久子（話し相手）、
金丸弘志（マッサージ）、平原サカ江（行事手伝い）

【富士見荘】

青梅傾聴ボランティアうさぎ（傾聴）

三. 慰問・交流・交歓会

【曙荘】

昭和会館混声合唱部・眞理ヨシコ・田中修二・ラヴィアンローズ・
青梅市立西中学校吹奏楽部（音楽会）

【富士見荘】

林三津子・井口和子（春のミニコンサート）、
小泉清人・続木力（夏の演奏会）

四. 中学生体験学習・職場訪問・研修

なし

五. 光の箱（募金）

左記の皆様からご寄附をいただきました。ご協力を賜り、
誠にありがとうございました。

（株）ニッセープロダクツ 二二七〇円

翠明苑 九二二七円

ヒバチヤ 八二二二円

高木病院 一七二四五円



今日も明るく楽しく心豊かな日々 ～利用者の生活～



秋季・彼岸法要



運動会にて、シーツ巻き上げ競争

聖明園曙荘



【送り火】故人に想いを馳せて



【暑さに負けずに】
真っ赤なサルビアを見て、元気をもらいました。

聖明園寿荘



皆さんの美学が表れています。



皆さん、お花のような笑顔をされています。

聖明園富士見荘